

資料2

「東大阪市内および近隣の大学生の就職意識調査」

結果報告書

2020年3月

東 大 阪 市
東大阪商工会議所

調査要領とその経過

1. 実施主体

本調査は東大阪市経済部の委託を受け、東大阪商工会議所が実施した。

2. 名称

「東大阪市内および近隣の大学生の就職意識調査」

3. 目的

求職者の売り手市場が続く中、中小企業をはじめとする市内事業所の人材確保が困難な状況になっている。今後も、人口減少に伴う労働力人口の減少が予想され、人材不足がますます深刻な状況になっていくと思われる。そこで、市内事業所を対象とするアンケート調査と合わせて、市内及び近隣に立地している大学の学生を対象としたアンケート調査を実施し、市内企業へのイメージや東大阪市の雇用対策事業に関する学生の声を収集し、現行の事業をより効果的な手法へと見直していく。

4. 調査期間

2019年10月1日 ～ 2019年12月13日

5. 調査対象

近畿大学、大阪商業大学、大阪樟蔭女子大学、東大阪大学、大阪産業大学、大阪経済法科大学の3年生1,460名を本調査の対象とした。

有効回答 913名 回収率 62.5%

6. 調査方法

大学キャリアセンターを通じたアンケート調査

7. 調査班

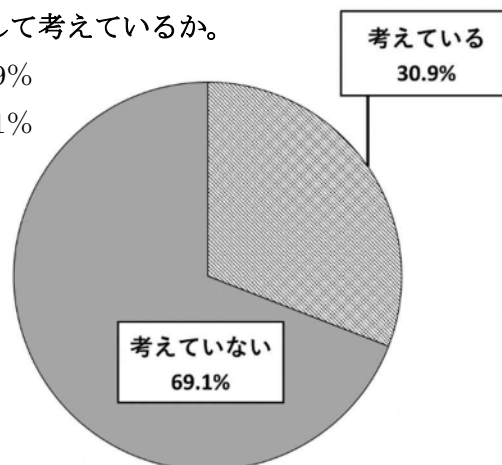
東大阪商工会議所 企画調査部

8. スケジュール

2019年	10月	調査票発送
	11～12月	調査票回収
	12月	調査票集計
2020年	1月	調査票集計
	2月	調査報告書作成
	3月	報告書作成

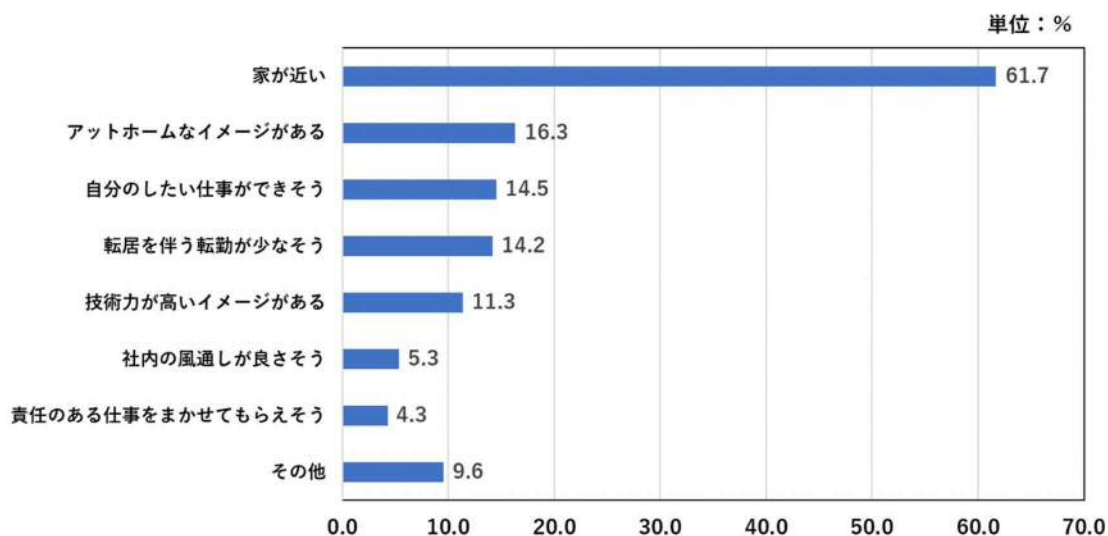
1. 東大阪市内企業への就職を選択肢の1つとして考えているか。

- (1) 考えている 30.9%
 (2) 考えていない 69.1%



2. 設問1で「考えている」と回答した学生は、東大阪市内企業のどこに魅力を感じているか（複数回答）。

「家が近い」が61.7%と最も高く、次いで「アットホームなイメージがある」16.3%、「自分のしたい仕事ができそう」14.5%、「転居を伴う転勤が少なそう」14.2%と続く。

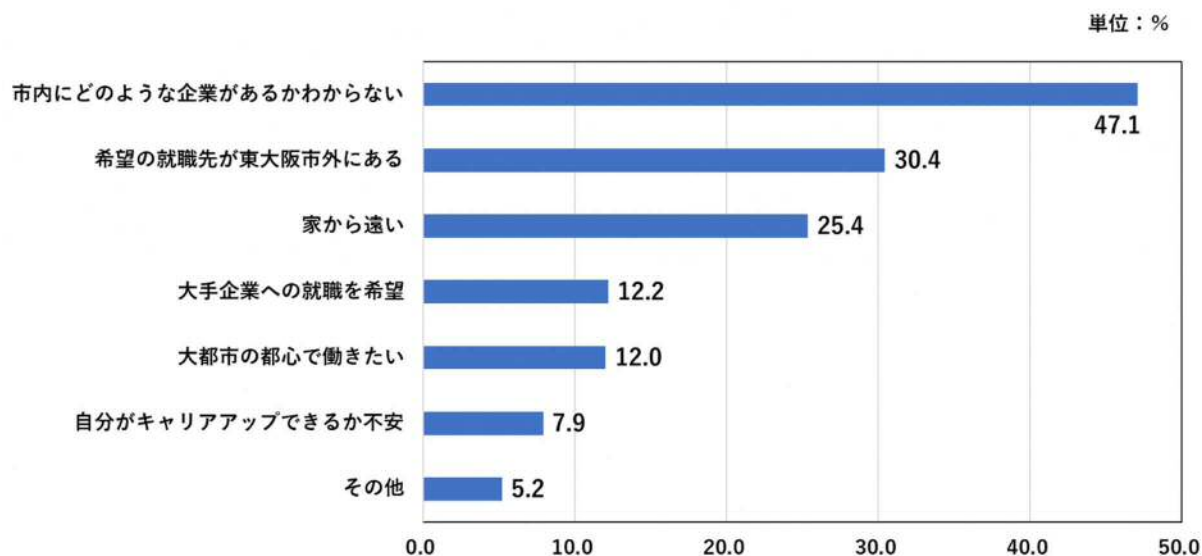


その他の理由としては、以下の理由が回答されている

就職したい企業が東大阪市にあれば行こうと思う
勤務地にこだわりがあまりないから
通える範囲にある
働く場所の範囲は広いが選択肢が増えるから
学校で通っていた場所だから
関西地区で働きたいから
中小企業が多そうだから

3. 設問1で「考えていない」と回答した学生が、東大阪市内企業への就職を考えていない理由について（複数回答）。

「市内にどのような企業があるかわからない」が47.1%と最も高く、次いで「希望の就職先が東大阪市内にある」30.4%、「家から遠い」25.4%、「大手企業への就職を希望」12.2%と続く。

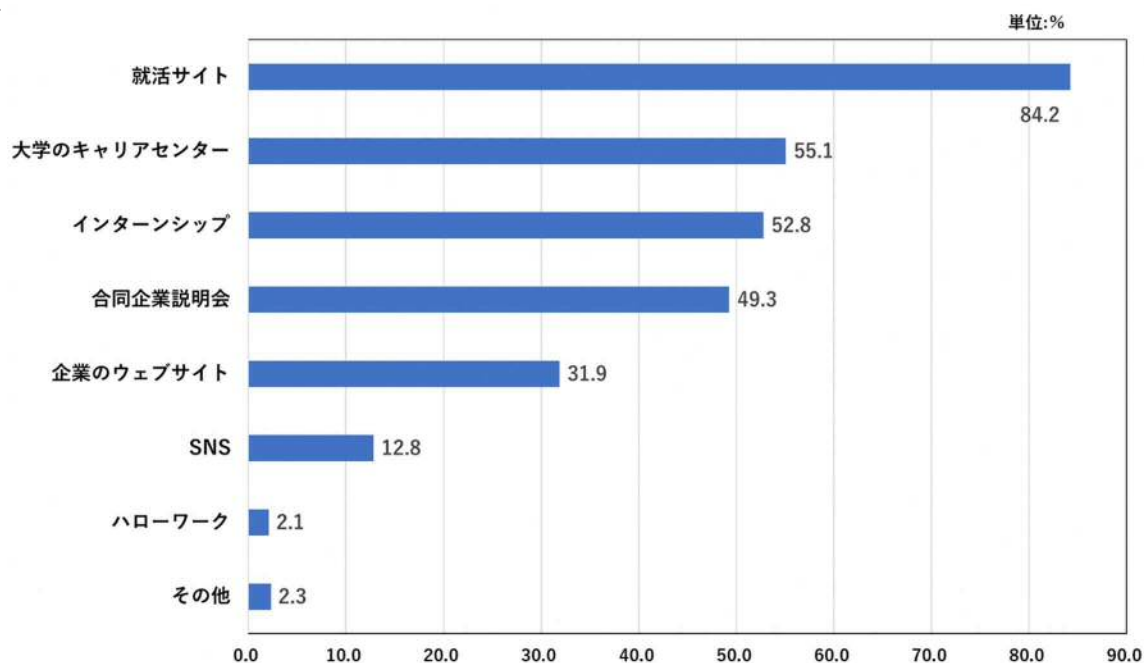


その他の理由としては、以下の理由が回答されている

自分と相性のよい企業に入りたいから
大阪で就職するつもりはない
一般志望ではなく教育志望です
特に勤務先にこだわりはない
まだ何も明確に決まっていない
他目的で大学に進学したため
就職する可能性が低い
公務員試験を受けている
製造系が多いイメージがあるので、そういう所に行きたくないから
大阪が都会すぎるので郊外で就職したい

4. 就職活動を行う際に、どのように情報収集を行うか（複数回答）。

「就活サイト」が84.2%と最も高く、次いで「大学のキャリアセンター」55.1%、「インターンシップ」52.8%、「合同企業説明会」49.3%と続く。

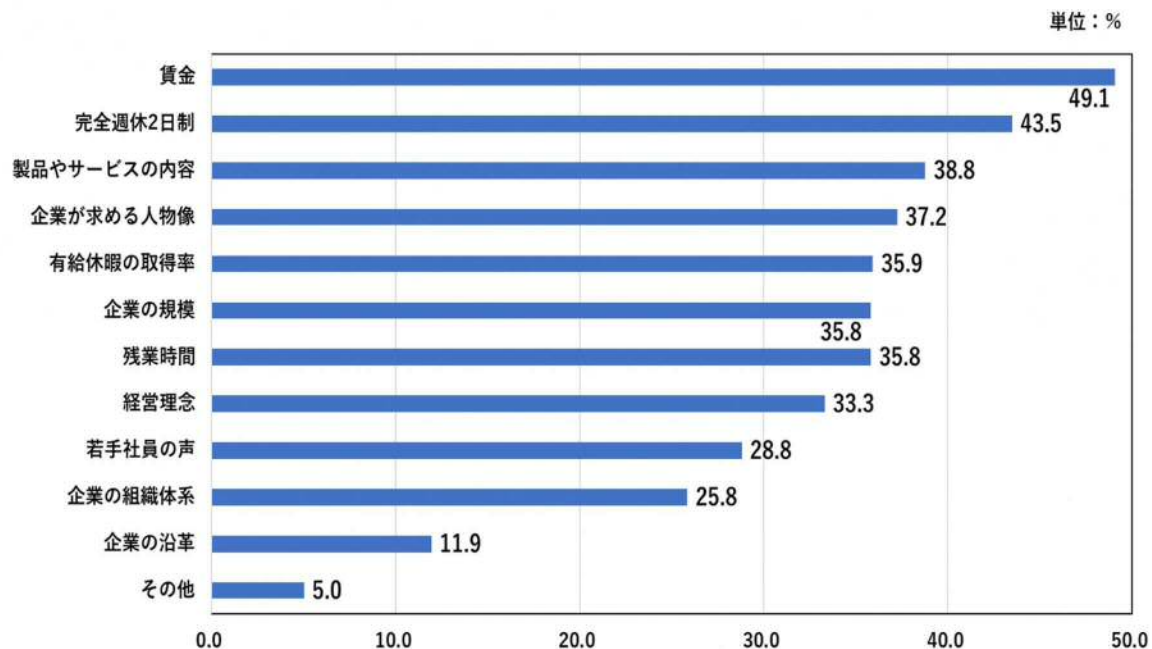


その他の理由としては、以下の理由が回答されている

TV
本
先輩から話を聞く
友達との情報共有
マイナビや大学のしごとナビのサイト
自分で気になるところをネットで検索しています
医療事務の資格を取得した所
インターンシップで出会った就活生や友人
アルバイト
口コミ情報
部活の監督
身内の情報
親や知り合い
業界四季報

5. 企業の情報を収集する際、どのような情報に注目するか（複数回答）。

「賃金」が49.1%と最も高く、次いで「完全週休2日制」43.5%、「製品やサービスの内容」38.8%、「企業が求める人物像」37.2%と続く。

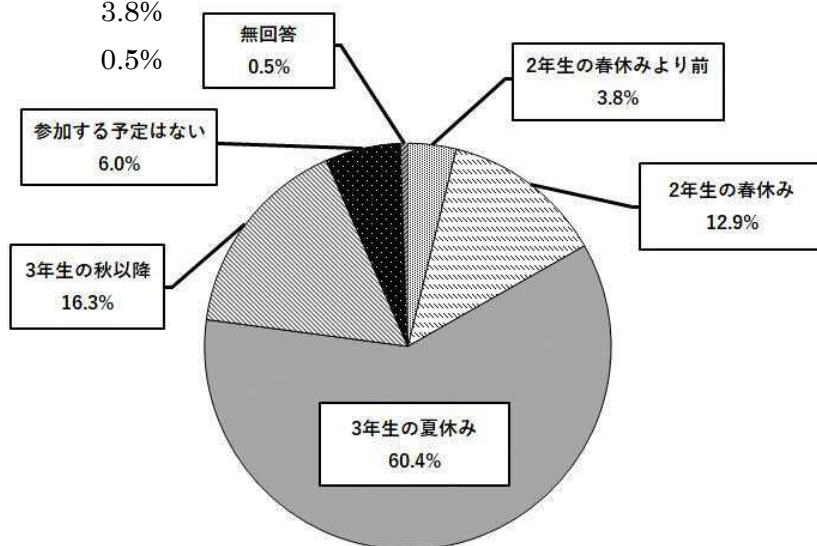


その他の理由としては、以下の理由が回答されている

福利厚生・保険制度・教育制度
楽しく働けるか・職場環境
成長性と若手の裁量権
社会貢献度
採用人数
離職率
社風
勤務地
育休・産休
仕事内容
希望職種
発展性や先見が立っているか
人柄・雰囲気・魅力・人間関係
SNS
都道府県教育委員会の情報

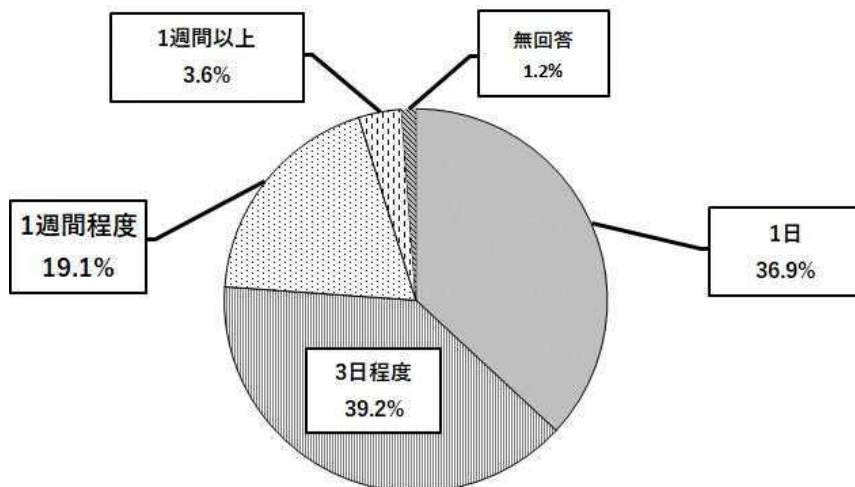
6. インターンシップには、いつ頃参加するのがよい（よかった）と思うか。

- (1) 3年生の夏休み 60.4%
- (2) 3年生の秋以降 16.3%
- (3) 2年生の春休み 12.9%
- (4) 参加する予定はない 6.0%
- (5) 2年生の春休みより前 3.8%
- (6) 無回答 0.5%



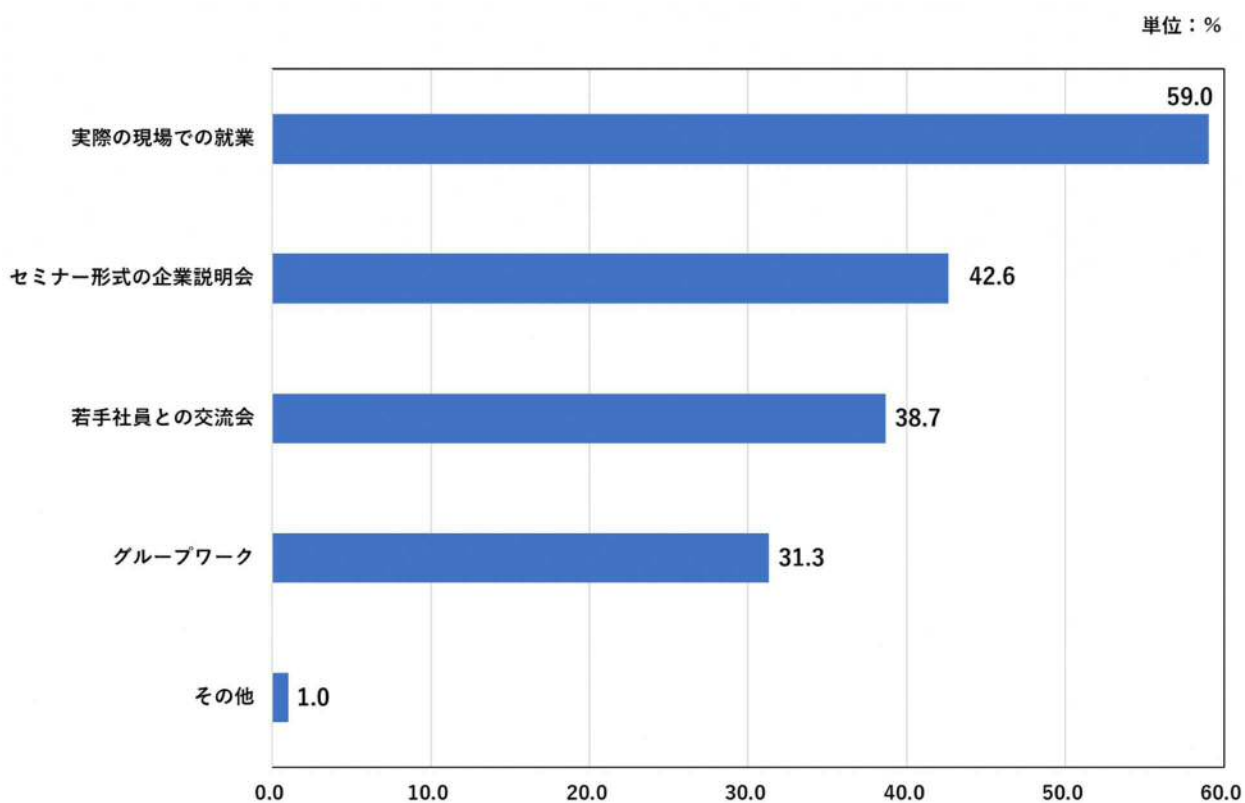
7. インターンシップの期間はどのくらいがよいか。

- (1) 3日程度 39.2%
- (2) 1日 36.9%
- (3) 1週間程度 19.1%
- (4) 1週間以上 3.6%
- (5) 無回答 1.2%



8. インターンシップに参加する場合、重視する内容について（複数回答）。

「実際の現場での就業」が 59.0%と最も高く、次いで「セミナー形式の企業説明会」42.6%、「若手社員との交流会」38.7%、「グループワーク」31.3%と続く。

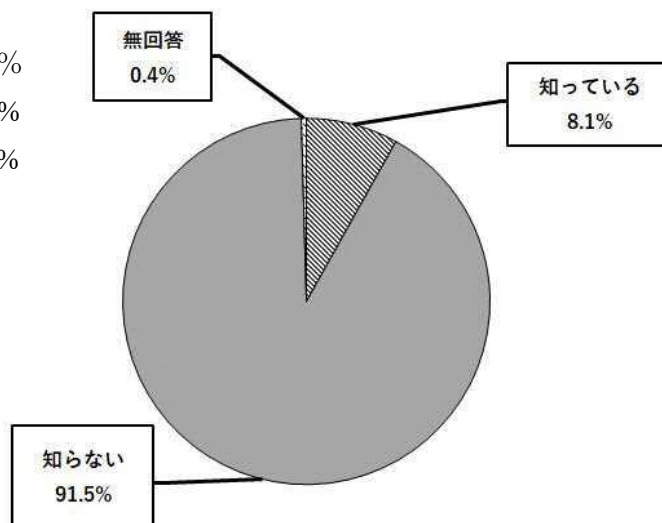


その他の理由としては、以下の理由が回答されている

家から通えるか
社内見学
社員さんとのコミュニケーション
内定者との交流会

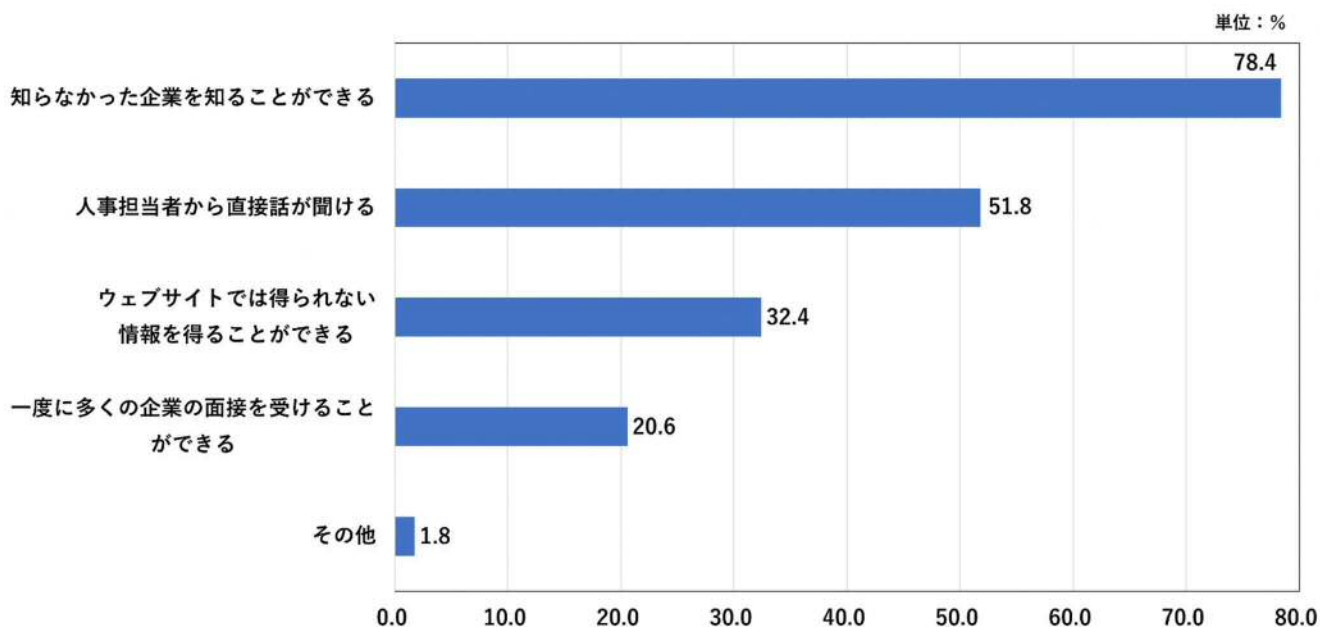
9. 東大阪市が大学4年生を対象に毎年6月頃、東大阪市内の企業を集めて開催している合同企業説明会について。

- (1) 知っている 8.1%
- (2) 知らない 91.5%
- (3) 無回答 0.4%



10. 合同企業説明会に参加する目的について（複数回答）。

「知らなかった企業を知ることができる」78.4%、次いで「人事担当者から直接話が聞ける」51.8%、「ウェブサイトでは得られない情報を得ることができる」32.4%、「一度に多くの企業の面接を受けることができる」20.6%と続く。

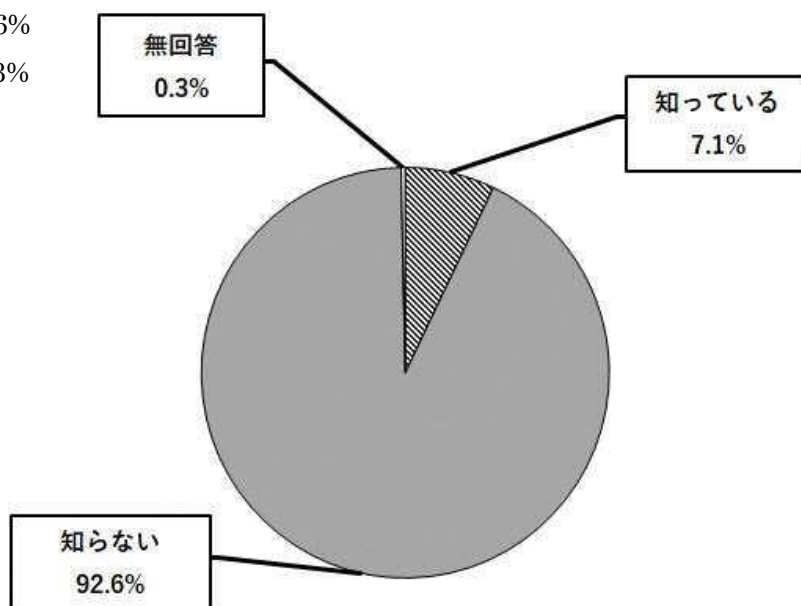


その他の理由としては、以下の理由が回答されている

インターンシップに参加できるかどうかを知るため
セミナーなども行われているので、それに参加するため
刺激になればいいなと思うから
顔を知って名前を覚えてもらえる可能性がある
たくさんの方が来ているため
業界研究
社員がやりがいや楽しさなどを感じているか表情で感じとれそうだから
社内の様子を見る

11. 東大阪市が設問9の合同企業説明会と同じ会場で開催している「業界研究会」※について。

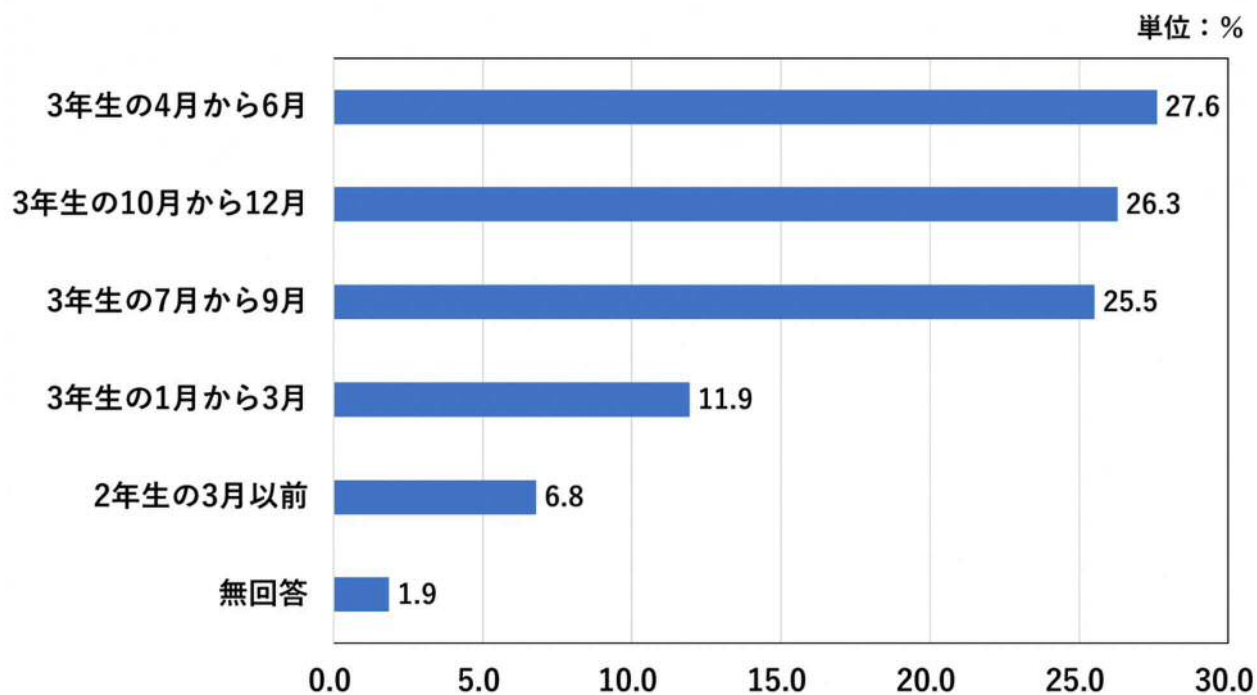
- (1) 知っている 7.1%
- (2) 知らない 92.6%
- (3) 無回答 0.3%



※大学3年生以下を対象に、各業界の特長や業務内容などを採用担当者から直接聞くことができるイベント。

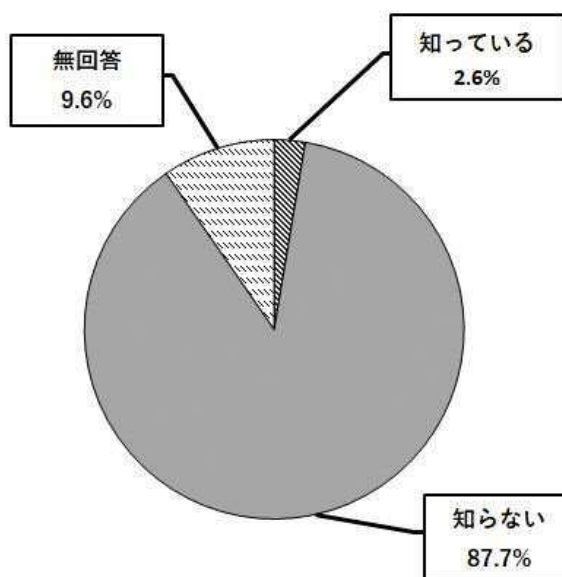
12. 設問 11 の「業界研究会」に参加する場合、希望する開催時期について。

「3年生の4月から6月」が27.6%と最も高く、次いで「3年生の10月から12月」26.3%、「3年生の7月から9月」25.5%、「3年生の1月から3月」11.9%と続く。



13. 東大阪市が運営している就職支援施設「就活ファクトリー東大阪※」について

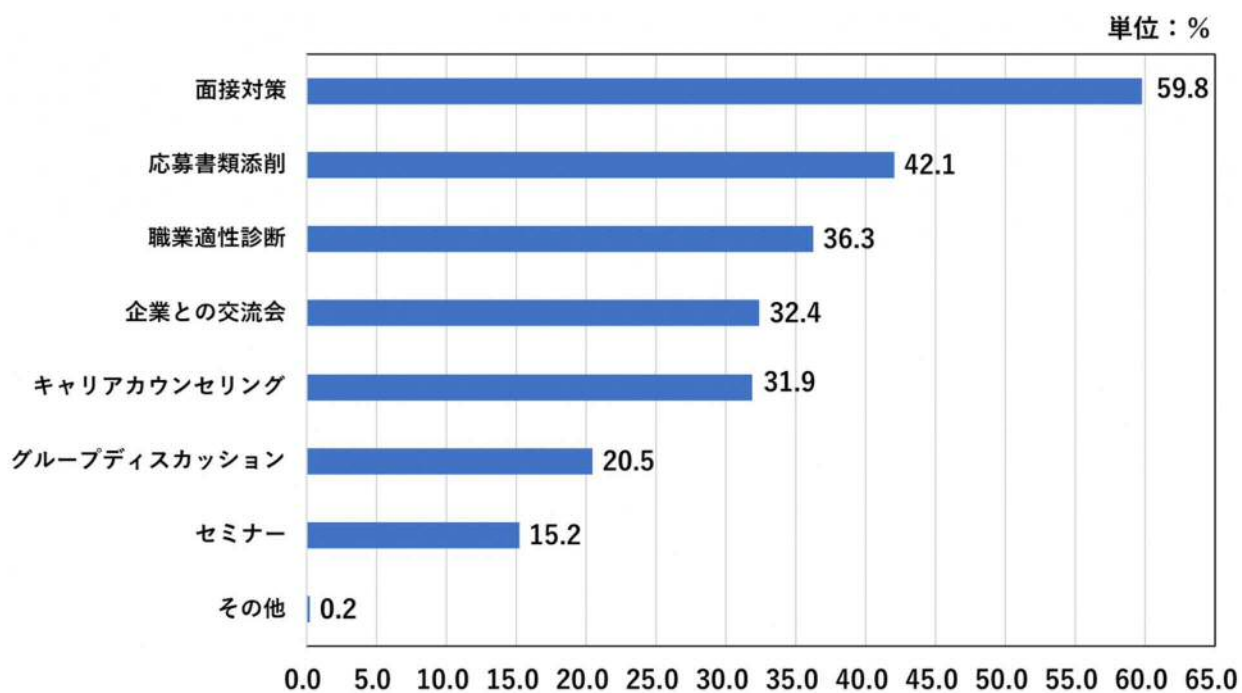
- (1) 知っている 2.6%
- (2) 知らない 87.7%
- (3) 無回答 9.6%



※経験豊富なスタッフによる学生の就職活動をマンツーマンでサポート。

14. 「就活ファクトリー東大阪」が実施しているサービスの中で、利用したいものについて（複数回答）。

「面接対策」が 59.8%と最も高く、次いで「応募書類添削」42.1%、「職業適性診断」36.3%、「企業との交流会」 32.4%と続く。



フリーアンサー(就職活動で困ったことや、悩んでいること)

◆就職活動について

- ・色々挑戦したいと思って取り組んでみても結局何をしたいのか見つけられない。
- ・就活の軸が曖昧です。コミュニケーション能力、社交性に不安があります。初対面の方と交流する際、上手く打ち解けることが出来ません。
- ・学校で学んでいることと全く関係ないことが多数で、経営学部や商学部の人達に太刀打ちできるのかが不安です。
- ・就活する友達同士のコミュニティ性に一番課題を抱えている。
- ・就活に対してなかなか前向きな気持ちで活動できない。
- ・就活の進め方、対策の仕方がわからない
- ・就活の目安。この月にこう動くという図式がほしい。
- ・まだ就職活動を本格的に始めていなくて、今自分が何をすべきか、自分にどのような職があっているのか正直不安です。
- ・就職できるのかどうかというのが、一番の懸念材料です。
- ・就職について知識が無さすぎ？漠然としている。
- ・今、自分のしたい事が、まだ自分自身で分かっていない状態の時はどういった所に行くべきなのか分からない。
- ・今から就職活動する気にならない。まだ4回生の年もあるから大丈夫だと思ってしまう。
- ・就活-navi が使い難い。重要な掲示文をピックアップできると機械オンチでも使えそう。
- ・まだ就職活動の事を1つも考えられていなかった。
- ・何から始めたら良いのか、就活のやり方がわからない。就職できるか不安。
- ・何を基準に会社を選べば良いのかわからない。
- ・日程が合わない。
- ・どのような企業に就職したいかが、明確に定まっていないので、どのように就活していくかが見えていない。まず、ある程度就きたい職種をみつけて取り組みたいと考えています。
- ・まだ細かいところが決められない。

◆業界分析等について

- ・行きたい業界が決まらない。
- ・お勧めの企業等を教えてほしい。多すぎてどこに目をつけていいか分からなくなります。
- ・企業に行くか、保育で働くか悩んでいる。
- ・業界を絞らないといけないけれど多くて難しい。絞っても他の業界じゃなくていいのか不安になる。
- ・業種を絞ることが難しい。
- ・教職と就活の二刀流ができるかどうか。

- ・勤務地以外の希望がほぼ無いので、広すぎて困っている。
- ・自分がエントリーしていない企業情報もたくさんメールが届くので、情報量が多すぎて処理できない。
- ・どんな企業を選べばよいのか分からない。

◆面接、SPIについて

- ・SPI が心配
- ・面接が何回あるのかわからず、その企業にだけ注力していればいいのか分からない。
- ・面接対策がどのようなことをしたらいいのか分からない。先輩社員の訪問はやるべきかどうか分からない。
- ・面接対策する上で、相手の企業に対してどうやって思いを伝えたらよいか。
- ・面接で自分の伝えたいことをきちんと伝えられるかが心配です。
- ・面接で変化球の質問に対応できるか不安です（例：自分を動物にたとえるなら？）。
- ・面接と履歴書の書き方、論文が苦手です。
- ・面接時にきちんとした言葉で話せているか不安。業界研究がしっかりできているか不安。
- ・行くのが面倒。
- ・動機を考えたり、書いたりすることが難しい。

◆インターンシップについて

- ・1day のインターンシップは選考に合格できるのですが、3days のインターンシップだと倍率が厳しくて合格できません。
- ・行きたい企業のインターンシップが人気で予約がとれない。
- ・インターンシップ等でも、意外と現場体験が実際にできる企業は少ないので、就職してから、奥深い質問をしなければ内部情報が分からない。
- ・インターンシップなど、1人で行くのが不安。
- ・インターンシップに行こうと思うが、どこに行けばよいか分からない。何をすべきかがはっきりしない。
- ・インターンシップに参加するかしないかを迷っています。
- ・インターンシップに少ししか行けていないけれど大丈夫なのか、企業説明だけでも就活対策になっているのかなど。
- ・インターンシップは平日が多いので、土日にもっと多くやって欲しいです。
- ・企業がたくさんあって、どこのインターンシップに参加するべきか迷う。
- ・やりたいと思うことが無いこと。それに伴いインターンシップも分からない。

◆エントリーシートについて

- ・エントリーシート対策・面接対策に悩んでいます。

- ・エントリーシートを添削をしてもらうために、エントリーシートを持って行かなければいけないこと。
- ・エントリーシートや履歴書など、書くことを苦手としている人が沢山いると思うので、そういう企画を開催してほしいです。
- ・応募書類の添削を誰にしてもらえば良いかわからず、悩んでいます。

◆グループディスカッションについて

- ・グループディスカッションと面接が苦手なので対策したいです。
- ・グループディスカッションや面接の練習ができていないので不安です。
- ・グループワークやグループディスカッションに取り組める場が中々少なく困っています。
- ・グループワークや面接対策（学内では緊張せず出来るが、いざ本番になると緊張してしまうため、悩んでいる）。

◆履歴書について

- ・履歴書が書けない。
- ・履歴書の長所が上手く書けない。
- ・履歴書をあまり書いたことがないので、うまく書けるか不安。
- ・履歴書を書くのが難しく、不安。
- ・自分の強みが分かっているけど、思いもよらない強みだった場合は、履歴書にエピソードとして書けない。

◆自己分析・カウンセリングについて

- ・カウンセリングをもっと受けたい、働くということの考え方を培いたい。
- ・学力がないけど、就職できるか不安。
- ・自己PRに悩みます。
- ・自己分析などをしてみても、自分がどういう人間なのか掴むことができない。
- ・自分にどの職業が合っているのか、興味のある業界に就職したとしても、それが自分に合っているのか分からないところ。
- ・自分の情報量が少なすぎて、何がなんだか色々分からない。とりあえず色々決めたい。
- ・自分が行きたい会社はどこなのか。
- ・自分が本当にしたい仕事は何かわからない。自己分析が本当にできているのかも分からない。
- ・自分に何が出来るのかが分からない。
- ・自分自身に合った、行きたいと思える求人が見つかるかどうか不安。
- ・自分の強みを見つけない。
- ・自分に向いている企業（やりたい仕事）がなかなか見つからない。
- ・自分のしたい仕事が見つからない。そろそろ決めなければならないが、自分は何ができるか

分からない。遠くに就職に行きたいと思うがそれも不安の一つ。

- ・自分のやりたい職業が特になく、業界などで絞ろうとしても多すぎて悩んでしまいます。
- ・個人的に自分は自主性が他に比べると低いと考えているので、自分から動かないといけな
いのが精神的ストレスになっている。それを軽減するためにはどうすればよいか。
- ・まだやりたい仕事が見つからない。自分に合った仕事が見つからない。

◆その他

- ・これから困る事がたくさんでてくると思います。
- ・将来が非常に不安である。
- ・その会社で本当に働き続けられるかどうかなどが悩みです。
- ・大学3年の秋にまだしたいことが見つからず、モヤモヤして焦りが出てきている。
- ・内定がもらえるかわからない。何から始めたらいいかわからない。
- ・労働時間（多さ）について、不安がある。
- ・東大阪市の製造業の一覧及び詳細について知りたいです。
- ・フレックスタイムを導入している職場が良いが、自分のなりたいような職業では少ない。
本気で就職したい企業が見つからない。
- ・周りと比べてインターンシップなどの活動をしてこなかったのが、出遅れた気がして困っ
ています。
- ・やってみたい職種はあるが、主体性がなくイベント会場が遠いため行けない。
- ・やりたい業種・仕事が見つからない。
- ・やりたいことがないと、何から始めたらいいかわからない。
- ・やりたいことが見つけられない。絞ることができない。
- ・やる事が多くて不安で、すでに自信を無くしています。
- ・夢がない。

まとめ

本調査は、市内及び近隣に立地している大学の3年生を対象に、東大阪市内企業へのイメージや東大阪市の雇用対策事業に関する学生の声を収集し、現行の事業をより効果的な手法へと見直していくために実施した。

『東大阪市内企業への就職を選択肢の一つとして考えているか』について尋ねたところ、「考えている」と回答した学生の割合が30.9%、「考えていない」と回答した学生の割合が69.1%であった。また、「考えている」と回答した学生に『市内企業のどこに魅力を感じているか』を尋ねたところ、「家が近い」(61.7%)が最も高い割合を示し、『アットホームなイメージがある』(16.3%)が続く結果となった。一方で、「考えていない」と回答した学生にその理由を尋ねたところ、『市内にどのような企業があるか分からない』(47.1%)が最も高い割合を示し、市内企業の情報が学生に行き届いていない現状が明らかになった。

『就職活動を行う際に、どのように情報収集を行うか』について尋ねたところ、「就活サイト」(84.2%)の割合が最も高く、次いで「大学のキャリアセンター」(55.1%)、インターンシップ(52.8%)、合同企業説明会(49.3%)が続いている。

『企業の情報を収集する際、どのような情報に注目するか』について尋ねたところ、「賃金」(49.1%)、「完全週休2日制」(43.5%)が上位で、待遇面を重視している傾向がうかがえる。

『インターンシップには、いつ頃参加するのが良いか』を尋ねたところ、「3年生の夏休み」(60.4%)の割合が最も高く、『期間』は「3日程度」(39.2%)、「1日」(36.9%)と、比較的短い期間を希望する割合が7割以上を占める結果となっている。

『インターンシップに参加する場合、重視する内容』について尋ねたところ、「実際の現場での就業」(59.0%)が最も高い割合を示している。

『東大阪市の大学4年生を対象に毎年6月頃、市内企業を集めて開催している合同企業説明会』について尋ねたところ、「知らない」と回答した学生の割合が91.5%と、9割以上を占めている。また、同説明会に参加する目的について尋ねたところ、「知らなかった企業を知ることができる」(78.4%)が最も高い割合を示している。さらに、同説明会と同じ会場で開催している「業界研究会」について尋ねたところ、「知らない」と回答した学生の割合が92.6%、「就活ファクトリー東大阪」についても「知らない」と回答した学生の割合が87.7%と、いずれも9割前後を占める結果となっている。

東大阪市内および近隣の大学生の就職意識調査

2020年3月

<発刊> 東大阪市 経済部労働雇用政策室
〒577-8521 東大阪市荒本北 1-1-1
TEL 06-4309-3178

<調査・編集> 東大阪商工会議所 企画調査部
〒577-0809 東大阪市永和 2-1-1
TEL 06-6722-1151

アンケート質問項目

東大阪市は、数多くの中小製造業が集積する「モノづくりのまち」として全国的に有名です。また、製造業以外にも数多くの中小の事業所が立地し、すべての業種を合算した事業所数では、大阪府下で大阪市、堺市に次ぐ第3位です。

◎あてはまるものに○をしてください。その他の場合は()内にも記載してください。

問 1. 東大阪市内企業への就職を選択肢の1つとして考えていますか。

1. 考えている 2. 考えていない

問 2. 問 1 で「1. 考えている」と答えた方に質問します。東大阪市内企業のどこに魅力を感じていますか。あてはまるものをすべて回答してください。

1. 家が近い 2. 転居を伴う転勤が少なそう 3. 自分のしたい仕事ができそう
4. 責任のある仕事をまかせてもらえそう 5. 技術力が高いイメージがある
6. 社内の風通しが良さそう 7. アットホームなイメージがある
8. その他 ()

問 3. 問 1 で「2. 考えていない」と答えた方に質問します。東大阪市内企業への就職を考えていない理由は、次のどれですか。あてはまるものをすべて回答してください。

1. 市内にどのような企業があるかわからない 2. 大手企業への就職を希望
3. 自分がキャリアアップできるか不安 4. 大都市の都心で働きたい
5. 家から遠い 6. 希望の就職先が東大阪市内にある
7. その他 ()

問 4. 就職活動をする際、どのように情報収集を行いますか。あてはまるものをすべて回答してください。

1. 就活サイト 2. 大学のキャリアセンター 3. インターンシップ
4. 合同企業説明会 5. 企業のウェブサイト 6. ハローワーク 7. SNS
8. その他 ()

問 5. 企業の情報を収集する際、どのような情報に注目しますか、あてはまるものをすべて回答してください。

1. 企業の規模 2. 企業の沿革 3. 企業の組織体系 4. 製品やサービスの内容 5. 経営理念
6. 企業が求める人物像 7. 賃金 8. 完全週休2日制 9. 有給休暇の取得率 10. 残業時間
11. 若手社員の声 12. その他 ()

問 6. インターンシップには、いつ頃、参加するのがよい(いつ参加すればよかった)と思いますか。

1. 2年生の春休みより前 2. 2年生の春休み 3. 3年生の夏休み
4. 3年生の秋以降 5. 参加する予定はない

問 7. インターンシップの期間はどのくらいがよいですか。

1. 1日 2. 3日程度 3. 1週間程度 4. 1週間以上

問 8. インターンシップに参加するなら、次のどの内容を重視しますか。あてはまるものをすべて回答してください。

1. セミナー形式の企業説明会 2. グループワーク 3. 実際の現場での就業
4. 若手社員との交流会
5. その他 ()

問 9. 本市では、大学4年生を対象に毎年6月頃、東大阪市内の企業を集めて、合同企業説明会を開催していますが、知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問 10. 合同企業説明会に参加する目的は何ですか。あてはまるものをすべて回答してください。

1. 人事担当者から直接話が聞ける 2. 知らなかった企業を知ることができる
3. 一度に多くの企業の面接を受けることができる
4. ウェブサイトでは得られない情報を得ることができる
5. その他 ()

問 11. 本市では、問 9 の合同企業説明会と同じ会場で「業界研究会」^(※)を開催していますが、知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

(※) 大学3年生以下を対象に、各業界の特長や業務内容などを採用担当者から直接聞くことができるイベントです。

問 12. 問 11 の「業界研究会」に参加するなら、開催時期はいつがよいですか。

1. 2年生の3月以前 2. 3年生の4月から6月 3. 3年生の7月から9月
4. 3年生の10月から12月 5. 3年生の1月から3月

あと少し!



ガンバって!